

## 2. 情報発信、啓発等

### (1) 学会発表

- ・第50回日本水環境学会年会(2016年3月、徳島県、アスティ徳島)  
和田桂子、津野洋 他「都市ノンポイントソースにおける汚濁負荷量把握のための手法と評価」
- ・第19回日本水環境学会シンポジウム(2016年9月、秋田県、秋田県立大学)  
システム解析研究会(招待講演) 和田桂子「路面負荷流出予測のためのモデル構築と評価」

### (2) 授賞

- ・公益社団法人日本水環境学会 平成27年度技術奨励賞受賞 和田桂子  
「水質モニタリングデータの活用による流域全体の変遷を捉えた水環境を見える化する手法」

### (3) 講演、社会活動等

- ・海外ワークショップ招聘講演  
湖沼水質保全技術ワークショップ(2016年6月6-7日、国立台北科技大学、台湾)  
「琵琶湖水環境保全25年の成果と今後の課題」  
環境生態工学研究所理事長 須藤隆一氏、東北大学教授 西村修氏らと講演。また、日本からの3名と台湾環保署水質保護局、台湾の大学教授による湖沼水質保全のための円卓会議を行った。
- ・海外視察対応  
韓国 環境部水環境政策局 7名(2016年4月)  
「日本の水質、水源保護、水質管理など水環境保護の取り組みについての現況確認及び規制実態把握」について  
台湾 環境庁水質保護部・国立台北科技大学教授他 12名(2016年4月)  
「琵琶湖・淀川流域の水質保全、水質浄化技術および水質管理」について
- ・共同研究：平成28年度下水道技術研究開発(GAIAプロジェクト)  
「雨天時に市街地から流出するノンポイント汚濁負荷量の予測モデル開発」(研究代表者：広島大学大学院准教授尾崎則篤の共同研究者)
- ・国際湖沼委員会(ILEC, JICA) 講義(2016年9月)  
「琵琶湖・淀川流域における水利用、水質浄化技術の紹介」  
「大阪における下水道の概要と河川・大阪湾における水質保全について」
- ・すいた環境サポート養成講座「琵琶湖・淀川の水質保全について」(2016年11月)
- ・平成28年度水資源機構 関西/吉野川支社環境学習会(2016年12月)
- ・環境省環境調査研修所 講義(2016年12月)  
国・自治体を対象とした水質分析研修においてデータ活用・解析等について



湖沼水質保全技術ワークショップ(国立台北科技大学にて)